

令和2年度 自己評価結果・学校関係者評価 公表シート

作成 都島中野幼稚園

1. 本園の教育目標

「明るく元気に 心身共に健やか で何事にも意欲をもって挑戦することができる子ども」
「自分で感じ考え 行動できる子ども」 を教育の目標とし、日々の保育に取り組む。

- 子どもたち自身が、五感を通して感じ・考えることを大切に、“幅広い体験”を重視し、調和の取れた豊かな教育を目指している。
- “食べること”は生きることの基本であると考え、子どもたちの健やかな心身の成長を願い、食育に力を入れ、安心安全な食材の提供、食育指導などに取り組んでいる。

2. 令和2年度、重点的に取り組んだ目標・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
安全管理	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、園内環境を整え、保育内容を工夫する。・防火・防災・防犯について考え、各場面を想定しながら避難訓練を実施する。・災害用品・備品を点検整備し非常時のための備えの充実をはかる。・園舎の危険個所の点検、補修、環境整備を行う。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・園舎施設や園児使用の教材や教具を定期的に抗菌を行った。・対面の状況を避けるためこれまで4人で使用していた園児机を2人に一台で使ために台数をふやした。・月毎に火災・地震・津波などの災害や不審者対応などの避難訓練と、年2回保護者の方と一緒に園児の引き渡し訓練を行った。交通安全指導も行っている。・遮光・紫外線カット・遮熱効果をもたせるために保育室の窓ガラスのコーティング工事を実施した。・全保育室のLED照明工事を完了した。・警察への非常通報装置の改修工事をおこなった。・外壁、フェンス、日よけテントの整備と補修工事を行った。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を必要に応じて工夫したが、ひとつひとつの再確認と子どもたちへの周知徹底が難しい。・園舎や設備の補修工事を行うことでより安全に快適に過ごせるようになった。・避難訓練は今後も場面ごとに園児がわかりやすい内容を工夫して継続して続けていく必要がある。
子育て支援	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・支援体制を整え、園児の保護者と地域の未就園児の保護者に対し、キンダーカウンセラーへの参加を呼びかけ、積極的に育児支援にとりくむ。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・未就園児親子登園で保護者との関係を深め、教員は必要な研修に積極的に参加し、保護者を支援できる様に努めた。・預かり保育の充実をはかり、受け入れ態勢を整える様に管理システムを導入し、利用方法の簡略化の見直しをはかった。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none">・休園期間があり、密を避けるために保護者どうしの関係を深めることが難しく、親子登園の参加人数が限られたため、思うような活動ができない面もあった。・システム導入により預かり保育の利用状態の煩雑さは解消したが、今後は定員設定のため申し込み方法の工夫が必要になった。

教育内容の充実	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防のために一つひとつの保育内容を見直し、場面に 応じて園児の成長に必要な最善の保育を行っていくよう工夫する。 ・毎月の課題をきめ、目標にむかって子どもたちが考え行動し、正しい生活習慣を 身につけていく。 ・実際に体験し、自分で考える遊びを工夫し、思考力をつけ子どもたちの意欲を引き 出す。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次々と変化する新型コロナウイルス感染症拡大状況にあわせて、保護者の方と一緒に できるだけの対策をとって一つひとつの行事を行っていくことができた。 ・具体的な目標にむかって努力し、生活習慣を身につけることができるようになった。 ・自然を使った遊びや科学遊びを行い、活動を楽しんだ。 <p>評価</p> <p>できない事や、難しいことが多く、簡略化した内容もあったが多くの課程を実施でき た。今年の体験をもとに次年度の活動がひろがるようにつなげていく。</p>
----------------	--

3. 学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

<p>教職員間の協議を細かく行い、保育内容を工夫することで多くの取り組みや行事を行うことができた。 思いがけない自然災害、病気や事故から身を守ることができる力をつけることの大切さを実感した。 防災や防犯訓練なども今後協議しながら検討し継続し実践していく。 保育内容として多くの体験を積み重ねていくために、子どもたちの成長と興味にあわせた活動ができる 様、研修や協議を積み重ねる努力をする。</p>
--

4. 次年度に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を引き続き実施する。 ・安全点検の実施と危険個所の補修を引き続き定期的に行う。 ・防犯カメラの改修工事を行う。 ・防災、防犯、避難訓練を充実する。 ・旗別登降園のために交通安全の訓練と危険を防ぐためのわかりやすい指導を工夫する。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育内容の充実を工夫する。 ・親子登園内容の向上と未就園児保護者対応の育児支援内容の見直しをはかる。
教育内容の充実	<p>感染症拡大状況の状況に合わせて保育内容を工夫し、園児にわかりやすい内容、目標を設 定し、充実させていく。 健康面・体力向上・教育内容を一つひとつ見直し、向上させていく。</p>

5. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・園の行事を削減しすぎずに、感染対策をした上で行えたことがよかった。 ・園児に手洗い等の指導を行ったことがしっかり身につけて家庭でも実践できる様になっている。 ・未就園児親子登園により子育て中のお母さんたちどうしの親睦を深めることができた。 ・地域との連携ができない年であったが、少しでも地域の育児支援ができる幼稚園になれる様に工夫して いってほしい。

6. 財務状況

<p>公認会計士監査により、「適正に運営されている」と認められている。</p>
